

プレスリリース

2022年3月28日
国境なき医師団 (MSF)

国境なき医師団日本の新会長に、中嶋優子医師が就任

特定非営利活動法人 国境なき医師団 (MSF) 日本は、2022年3月26日に開催した年次総会で、医師の中嶋優子（なかじま・ゆうこ）を新会長に選任した。中嶋は3月27日付で会長に就任し、2020年から会長を務めた医師の久留宮隆は同日付けで退任、副会長に就任した。

中嶋は救急医、麻酔科医。2009年にMSFに参加し、これまで6カ国で7回の医療・人道援助活動に派遣された。またMSF日本理事（2017年～2020年）、および同副会長（2019年～2020年）を務め、久留宮前会長とともに日本におけるMSFの活動を牽引してきた。日本国内外での医師としての豊富な経験と実績をもとに、今後もMSF日本の医療・人道援助団体としてのさらなる発展、ならびに国際的ネットワークであるMSFの活動に対する日本からの貢献拡大に取り組んでいく。

就任にあたり中嶋は、「紛争や災害に苦しむ人びとにMSFが援助を始めて51年目に入りました。人道危機は今も世界で止むことは無く、援助が必要な状態はこれからも続くと思われます。日本の皆様から頂く温かい想いをご支援を、命の危機にある世界中の人びとに最大限に届け、少しでも力になれるよう、一層励んでまいります」と抱負を述べている。

<国境なき医師団 (MSF) について>

民間で非営利の医療・人道援助団体。紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助活動を届けている。現在、世界約90の国と地域で、医師や看護師をはじめ4万5000人のスタッフが活動（2020年実績）。1971年にフランスで設立、1992年には日本事務局が発足した。日本国内では、援助活動に参加する人材の採用・派遣、人道危機や医療ニーズを伝える証言・広報活動、現地医療活動を支える資金調達などを行っている。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、山田瑞穂

携帯：080-2344-0684

E-mail: press@tokyo.msf.org <https://www.msf.or.jp>

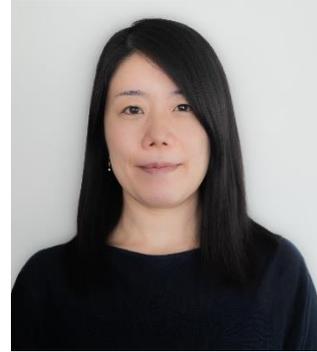
 メディア向けTwitterアカウント：@MSFJ_Press

<略歴>

国境なき医師団 (MSF) 日本 会長

救急医・麻酔科医

中嶋 優子 (なかじま・ゆうこ)



東京都立国際高校卒業。札幌医科大学卒業後、沖縄米海軍病院で初期研修。浦添総合病院麻酔科・救急総合診療部、都立墨東病院麻酔科などを経て USMLE (米国医師国家試験) 合格。米国 Yale 大学病院 Emergency Medicine Residency 卒業後、米国救急専門医取得。UC San Diego EMS・災害医療フェロー、クリニカルリサーチフェローを経て 2017 年から Emory University Department of Emergency Medicine Assistant Professor を務める。同年日本人初の米国 EMS 専門医を取得。現在は Metro Atlanta Ambulance Service Medical Director も兼任。

2009 年に MSF に登録、現在は米国を拠点に MSF の活動に参加。2017 年～2020 年、MSF 日本理事。2019 年～2020 年、同副会長。1975 年 11 月 22 日生まれ。東京都出身。

MSF 活動歴

ナイジェリア	2010 年 4 月～5 月
パキスタン	2012 年 11 月～12 月
シリア	2013 年 7 月～8 月
南スーダン	2014 年 7 月～7 月
イエメン	2015 年 8 月～9 月
シリア	2018 年 1 月～2 月
イラク	2022 年 2 月～3 月

中嶋優子会長ポートレート写真ダウンロードリンク

<https://msfj.lnky.jp/6Im7v59>